

日本語教育センターができました！！

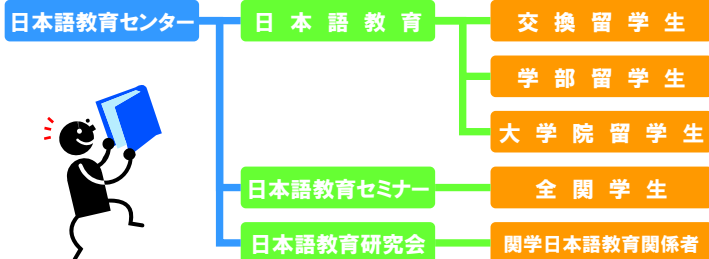
日本語教育センター通信

創刊号

外国人留学生への日本語教育を全学的な視野で企画し提供する目的で二〇一一年四月に設置されました。本学の外国人留学生を対象とした日本語教育を始めとし、在学生一般を対象としたセミナー、日本語教育関係者向け研究会の開催など、日本語教育に関するさまざまな役割を担います。

陣内 正敬 日本語教育センター長からのメッセージ

本学の日本語教育を一体的に運営するために、日本語教育センターが発足いたしました。これは、本学日本語教育の歴史において新たなステップの開始であり、いよいよその使命が増してきたことの顕れでもあります。本学の大きな目標の一つである「国際性豊かなキャンパス」を実現するためには、本センターの存在はきわめて重要であるといわざるをえません。本学の日本語教育のニーズに的確に対応するためにセンターの教職員一同頑張りたいと思います。みなさんも本センターに興味を持っていただき、ご協力とご支援をどうぞよろしくお願いいたします。



＜オリジナルインスタントラーメンを作成中の交換留学生＞

交換留学生 初めての フィールドトリップ

三月二十六日、二十名の交換留学生を連れてフィールドトリップへ行ってきました。今回の行き先は「インスタントラーメン発明記念館」「中山寺」「清荒神清澄寺」という超近場です。定期券とラガーカートの二枚投入、自分だけのオリジナルラーメン作りなど、初めての体験が多くドキドキだったようです。中山寺では来日直後でまだ漢字がほとんど読めない学生たちが境内にある「子授け地蔵」に祈願しようとし、慌ててそれを止めるといふハプニングもありました。最後に訪れた清荒神清澄寺の帰道、手焼きせんべいのお店の方が、ぜひ留学生にと、おせんべいをくださいました。みんなでおせんべいを食べたおせんべいは格別の味でした。

震災の影響で来日が遅れた学生が多く、急きょ近場のフィールドトリップに変更になりましたが、参加した学生たちにとって、楽しい思い出の一つになったのではないかと思います。



新設！大学院留学生対象科目

今年四月に関西学院大学に日本語教育センターが設置されるとともに、新たに開設された日本語科目がいくつかあります。その一つである「日本語（論文作成）」は、大学院で学ぶ留学生を対象としています。科目名のとおり、論文やレポートなどアカデミックな場面が必要とされる文章作成に取り組むクラスです。今年、八名の大学院留学生が受講していますが、書いた文章をクラス全員で相互にチェックし合う活動などを通じて、少人数ならではの和気あいあいとした授業になっています。母語であっても書くという作業はなかなか難しいものですが、（今それを実感しながら書いています）が、書くことを通じて、自分の考えを深め、新しい何かを発見する醍醐味を実感してもらっています。



＜「日本語（論文作成）」担当 長谷川哲子先生(中央)と学生＞

日本語クイズ ～方言編～

問「これらの方言の共通語は、次の三つのうちどれでしょう？」

- 「かねましい」新潟県
「だんだん」愛媛県
「きのびくな」富山県
- 【答】 1 すみません
2 はずかしい
3 ありがとう

